

さわび

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ซาอีตามะ

2013年5月  
28号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局  
〒350-1188 川越市田町32-12  
武州ガス内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

# 埼玉王

## 教育関連施設7ヶ所目はバン・ジャムラン校へ

# 校舎1棟(4教室)を贈る



▲建設前の校庭  
図書館の隣に建設された



▲引き渡し式の後、寄贈した校舎の前で、子供達と記念撮影

去る2月、7ヶ所目の当協会の教育関連施設建設事業、バン・ジャムラン校の小学校校舎1棟4教室が完成し、2月16日、現地でその引き渡しが行われました。これに合わせて第9回親善訪問を実施、原敏成武州ガス(株)社長を団長に20人の方が引き渡し式に出席しました。なお、この建設資金の一部を、(財)埼玉県国際交流協会から助成金としていただいております。

訪問団一行は、他にも平成20年に寄贈したアジアホープ孤児院を訪問したり、埼玉からアユタヤ郊外の工業団地に進出している日本伸管タイランドを見学した他、チェンマイやバンコク、アユタヤなどの観光も楽しみました。

# 歓迎、感動、深まる交流

## 親善訪問団引渡し式に出席

引渡し式が行われたバン・ジャムラン校は児童、生徒数は200人。ラオス、ミャンマーの国境地域にあり、子ども達の大部分は少数民族のカレン族です。山奥に住み、学校に通えない児童生徒のための寄宿舎も併設されています。

チェンマイ市内からは車で4時間半の行程。一行は大型バスが入れない道もあるため、ワゴン車3台に分乗し、朝6時半にホテルを出発しました。カーブのきついつづら折りの道を走り、途中パイの戦争記念橋で休憩、ここからは道幅も狭く、アスファルトが剥がれたり、崖崩れの箇所も多数ある道を走り、10時50分同校に着きました。

学校にはインソン校長を初め、教育局関係者、先生、児童、生徒が一行を待っていました。そして一行は会場に案内され、子供たちの歌や民族舞踊で歓迎を受けた後、引き渡し式が始まりました。

まずインソン校長が壇上に上がり、歓迎の気持と教室の寄贈に対し、当協会への感謝を述べました。次に原敏成訪問団長が挨拶に立ち、4教室が完成し、より良い環境で勉強していただき、新校舎から地域を担う人材が育って欲しい、と希望を述べ、それに当協会が貢献できた喜びを述べました。これに対し、チェンマイ教育局のインソン教育局長は、「新しい教室で学び、子ども達がより良い人間になれるよう頑張りたい、日本の皆さんがこれから何度もこの地域を思い出してもらえような地域にしていきたい」と感謝の気持ちを述べました。

そして、インソン教育局次長から原団長へ記念品の贈呈があり、原団長と団員からは子供達へのお土産を渡しました。その後、原団長と教育局ソンポン氏の手による除幕式が行われ、それを見守った後、訪問団全員で完成した教室を見学しました。その後一行は、昼食のもてなしを受け、午後一時半、バン・ジャムラン小学校を後にしました。

今回の訪問団には、初めて参加された方が6名いましたが、皆さん一様に、子ども達の笑顔や目の輝きに感動し、支援活動に直接参加できたことを喜んでいました。また、タイの活気に刺激を得たという参加者もいました。



▲子ども達が民族舞踊で歓迎



▲インソン校長



▲原訪問団長



▲ソンポン教育局次長



▲記念品を受け取る原団長



▲記念品を渡す小川さん



▲式の後、教室を見学する皆さん



▲会場内の子供達



▲式を見守る訪問団の皆さん



▲全員で記念撮影



▲子ども達へのお土産を渡す、左から國島さん、田村さん、関根さん、高橋さん



▲記念品のお礼を述べる原田さん



## アジアホープ孤児院を訪問

バン・ジャムラン校での引渡し式を終えた後、訪問団一行は、5年前にチェンマイ市郊外に寄宿舎を寄贈したアジアホープ孤児院を訪問しました。

一行が到着したのは午後5時半過ぎで、子ども達は庭で遊んでいました。寄贈した居住棟には引渡し式での原会長の写真と寄贈の記録が書かれたプレートが掲げてありました。この孤児院の人数は増え続け、現在は80名を超えているとのことでした。一行は、日本から持参したお菓子や古着を、団員一人一人から手渡し、子ども達は早速、試着したりしていました。



▲アジアホープの代表者にお土産を渡す左から岡本さん、万福さん、飯島さん



▲寄贈した寄宿舎の前で記念撮影



## 日本伸管タイランド視察

2月18日、親善訪問団一行は、昨年9月にアユタヤ・ロジアナ工業団地に進出した「日本伸管タイランド」を視察しました。同社は新座市に本社があり、代表取締役会長の細沼氏は当協会の幹事を務めています。

一行は、川俣工場長から設立の説明やその際の苦勞などの話を聞いたあと、工場内を見て回りました。現地従業員の方々の一対一に対する挨拶など礼儀が浸透している事に、同社の教育が行き届いている事を感じました。

工業団地周辺には洪水対策のための土手が作られていました。またこの工業団地には日系企業が140社入っているため見慣れた口ゴの会社がいくつも見受けられました。



▲進出の経過などの説明を受ける



▲説明を聞いた後、工場内を見学



▲川俣工場長(左)と吉田部長



## タイにアクセス

### 当協会の活動を展示・紹介

日本語国際センター1Fロビー



▲展示を見る人達

去る1月27日、北浦和駅近くの日本語国際センターで、(財)埼玉県国際交流協会主催の「平成24年度国際協力講演会・交流会」が開催されました。当協会も教育関連施設建設事業に助成を受けていることから、会場の1階ロビーに当協会の活動を紹介する展示を行いました。展示は、事務局にて行いましたが、当協会がこれまで建設してきた教育施設や親善訪問団の様子をパネル上に写真で紹介、また広報誌「さわっで

い・埼玉」は、手にとって読んでもらえるよう机の上に設置しました。

当日は大場久美子氏の講演会が午後1時から2時まで2Fホールであり、その後2時半からの交流会開始まで、ロビーには多くの方が熱心に展示を見ている姿がありました。



▲写真や会報などで紹介

### 第15回総会開催

下記の要領で総会を開催します。  
ぜひご出席ください。

日時 7月3日(水)  
15:30~16:50 総会・講演会  
17:00~19:00 懇親会

場所 川越東武ホテル  
川越市脇田町29-1 ☎049-225-0111

※会員の皆様には、別途ご案内を送付致します。



▲昨年の総会風景

### タイ・フェスティバル2013

5月11日(土)12日(日)  
10:00~20:00  
代々木公園イベント広場

海外文化をテーマにしたイベントの中でも人気が高く、毎年イベント広場が人波で埋まります。若者が多いのも特徴。フードはもちろん、ショッピング、舞踏、音楽、ムエタイなどあらゆるタイの文化を楽しむことができます。ぜひ一度お出かけください。



●完成した校舎を見てホッとしました。新電元OBの堀田さんはタイ語が自在で、細かな部分で大変お世話になりました。感謝申し上げます



▲堀田さん

編集後記

### 埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

●会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428  
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118  
(武州ガス(株)内)